

平成28年度第2回 青葉区議員団会議 会議録	
開催日時	平成28年9月7日(水) 午後4時15分～5時15分
場 所	青葉区役所4階402・403会議室
出席者	<p>【議長】 赤野議員</p> <p>【議員：8名】 青木マキ議員、大貫憲夫議員、内田みほこ議員、菅野義矩議員、行田朝仁議員、藤崎浩太郎議員、山下正人議員、横山正人議員</p> <p>【説明局員：35名】(青葉区：33名)</p> <p>小池恭一区長、大野敏美副区長、勝島聡一郎福祉保健センター長、小嶋哲夫福祉保健センター担当部長、楨重善青葉土木事務所長ほか関係職員</p> <p>(こども青少年局：2名)</p> <p>細野こども福祉保健部長、岩田児童施設担当課長</p>
次 第	<p>1 報告事項</p> <p>(1) (仮称) 横浜中里学園整備の進捗状況について (資料1・こども青少年局こども家庭課)</p> <p>(2) 「青葉区まちづくり指針(都市計画マスタープラン青葉区プラン)」 改定の素案に関する意見募集の結果について (資料2・区政推進課)</p> <p>2 情報提供</p> <p>(1) 市が尾駅周辺地区バリアフリー基本構想の策定について (資料3・区政推進課)</p> <p>(2) マイナンバーカード交付の状況について (資料4・戸籍課)</p>
報告事項 (1) (仮称) 横浜中里学園整備の進捗状況について	
発言の 要 旨	<p>山下議員 神奈川県で中里学園移転の話が出た当時、湘南地区の県の施設に移ったお子さんがかなり多くいた、状況によってはそちらに移ったほうがいいお子さんもいれば、場所がないので引っ越ししなければいけないということで移ったお子さんもいると思う。</p> <p>そのように施設を移ったお子さんは、必要に応じて移ったのか。新しくできる学園に移ると聞いている15名は市内のお子さんなのか。</p> <p>それに関して、県との調整は進んでいるのか。それとも、一旦移ってしまったらもう戻れないのか。</p> <p>細野こども青少年局こども福祉保健部長 この15名のお子さんについては、横浜市所管施設の15名ということになるため、県と調整は進めている。</p>

	<p>山下議員 横浜に住んでいるお子さんかそうでないお子さんか、ということよりも、同じ児童養護施設にいたお子さん達を、行政の都合で「引っ越してください」という話になった。</p> <p> そのお子さん達は、やっぱりここにいたかったんだと。私が当時お話を聞いた時は、「自分たちの弟たちが」と、彼はそういう表現をしたのだが、弟たちが別れなければいけないのだという話になったときに、元のさやに戻れるのか。</p> <p> それは横浜に住んでいるお子さん達を優先するという意味ではなく、例えば藤沢に住んでいようが、厚木に住んでいようが、もともと中里学園にいて、そこに住空間をつかって、地元の中学校に通っていた子供達が元通りのさやに納まれるような状況になっているのかどうか、そこだけを聞きたい。</p> <p>細野こども青 県外の子供であっても受け入れられる子供は受けたほうが良いという少年局こども うのが先生のお話の趣旨だろうと思う。</p> <p>福祉保健部長 今、県立の中里学園では、閉園に向けて計画的な受け入れを行っており、その中で横浜の子どもについては入所した子ども達をしっかりと我々が引き継ぐということで話し合いを進めている。</p> <p> 県の子ども達を拒んでいるということでは決してなく、横浜市民のお子さん達については、新しい施設でしっかり後を受け継いでいくという体制が徐々に進んでいるということで、他の地域の子ども達を追いやっているというようなことは決してない。</p> <p>山下議員 そろそろ施設名の話が出てくると思うが、「仮称」となっているのはどういう考えか。</p> <p>細野こども青 基本的には、中里という名前を大切にしながら、今までのテイストを少年局こども 継承しながら進めていきたい。10月くらいまでには幾つかの案の中から福祉保健部長 選択をしていきたいと考えている。</p>
<p>報告事項（2）「青葉区まちづくり指針（都市計画マスタープラン青葉区プラン）」 改定の素案に関する意見募集の結果について</p>	
<p>発言の 要旨</p>	<p>（特になし）</p>

情報提供（１）市が尾駅周辺地区バリアフリー基本構想の策定について	
発言の要旨	<p>横山議員 電線の地中化を実施する区間では、電柱がなくなるということは当然障害物がなくなるということなので、バリアフリーに関連するのではないかと思うが、どうか。</p> <p>吉田区政推進課担当課長 道路特定事業の中で、電線類の地中化については今後機会をとらえて整備を検討すると位置づけており、バリアフリーと非常に関係のある事項である。</p> <p>横山議員 資料の端面に切り込みとQRコードのようなマークがあるが、これは何か。</p> <p>高西区政推進課まちづくり調整担当係長 パンフレットの内容を機械で読み上げるための仕組みである。切り込みのそばに、パンフレットの文字情報を音声にするための情報が組み込まれたマークが印刷されている。 視覚障害のある方が切り込みを手掛かりに機械をセットすると、機械がマークを読み取ってパンフレットの内容を読み上げるというものです。</p> <p>大貫議員 平成32年度までを目標に整備するという箇所がたくさんある。この整備にはどれくらいのお金がかかるのか。32年度までに本当に整備できるのか。</p> <p>吉田区政推進課担当課長 全てを整備するための経費については、今は手元にはないが、もちろん整備するつもりで計画を作っている。</p> <p>大貫議員 例えば、東急の駅のホームドアの設置は東急さんが頑張ってくれているので本当に喜んでいるが、市が関わっているところについては市が責任を持たなければならない。 いくらくらいの予算で、年次目標はどうなっているのか。</p> <p>木村青葉土木事務所副所長 市が尾地区の道路特定事業計画については、横浜市の道路局が整備する事業となっている。平成28年度から32年度のうちに、どの時期にどの路線を整備するかについて計画が立てられている。 道路局の総事業費としては約1億円を見込み、32年度完成に向けて取り組んでいく所存である。</p> <p>大貫議員 市が尾駅の国道246号線側で、スロープが人の動線から外れてしまっているのではないかと以前から言ってきた。</p>

	<p>この問題についてはその後どうなっているのか、いつ整備できるのか改めて聞きたい。</p>
吉田区政推進課担当課長	<p>ご指摘の箇所については、バリアフリー基本構想上では、公共交通特定事業の中の、市が尾駅から歩道へ平たんに接続している部分をわかりやすくする改善、として位置づけている。</p> <p>現在ある平たんなどが少し遠回りになっている、もっとよいルートがある、そういうものをつくるべきだというご意見だと思う。</p> <p>公共交通特定事業を行う東急電鉄に対して、よりよい整備に向けて横浜市として申し入れをしているところである。</p> <p>東急電鉄からは、店舗やビルとの関係で、すぐには整備が難しいが、建物の変更あるいは建て替え等に合わせて検討していくとの回答を得ている。</p>
大貫議員	<p>民間企業とのかかわり合いを密にしていかなければいけない。東急さんや他の事業者との関係がうまくいかないと、この構想自体うまくいかないと思う。</p> <p>それに関連して、以前からいろいろな場面で言っているバス停のベンチの問題だが、現地を見てみると、花壇のコンクリートのところに座っている方が多い。バス停のベンチの設置についてもバリアフリーの立場から強力に言ってほしい。</p>
大貫議員	<p>台風15号に関連して、鶴見川で想定される浸水の深さが、この辺は1.1メートル、多いところでは3メートルと言われている。この辺りをお年寄りが歩いていたような場合、標高の高い場所までは大した距離がないのですぐ上がって逃げられるとは思いますが、そうしたことへの気遣いについて、防災の点から何か考えているか。</p>
大野副区長	<p>先般、鶴見川が氾濫した場合の浸水想定区域が指定され、我々が確認している範囲では、この区役所のあたりで大体1.1メートル程度の浸水が想定されている。</p> <p>現時点で詳細なデータが届いていないが、危機管理室が今年度中にハザードマップの修正に着手する予定と聞いている。</p> <p>区としては、今後危機管理室が作成するハザードマップを確認し、避難勧告等のエリアも当然検討していかなければならないと考えている。</p> <p>また、区役所の周辺で1.1メートルの浸水想定ということで、災害対策本部自体は区庁舎の4階に設置されるため直接的な被害は想定していないが、施設には被害が発生するおそれもあるため、消防・警察・土</p>

	<p>木事務所等とも協議しながら、今後の対応を検討していきたい。</p>
小池区長	<p>そうした計画だけではなく、我々は河川の水位をチェックしている。この前の災害のときも、青葉区内での水位は大きくは上がらなかったが、八王子や町田で降雨があり、これは確実に下りてくるなということがあったので、避難準備情報も早く出した。</p> <p>水位を見て危ない状況があれば、河川沿いを歩いている方にとっては当然危険が予想されるため、土木事務所・消防とも連携して広報車等を回している。</p> <p>ただ、被害が区全域に及ぶような場合にはまた難しい問題もあるが、そのような場合の対応も含めてきちんと考えていきたい。</p>
藤崎議員	<p>点字ブロックを横断歩道の上に通してしまうものがあるが、そうしたものを検討したり、実際に施工する予定はあるか。</p>
木村青葉土木事務所副所長	<p>都内では、都心部で視覚障害者誘導用に灰色のものが設置されているのを見かけるが、私が知る限り横浜市内では設置例はない。</p> <p>今後、設置していくということになれば試験的に施工し、それを全市的に広げていくということになるものと考えられる。</p>
藤崎議員	<p>せっかくバリアフリー基本構想を掲げて、これを市ヶ尾地区で取り組むということなので、横浜市が方針を出さないと青葉区としてはできないというものであれば、区独自にでも設置を検討してほしい。</p>
内田議員	<p>横浜市のパンフレットからは、取組が視覚障害者を対象としたものに偏っている感を受けた。</p> <p>これからの団塊の世代の方、70代・80代・90代の方が、段差がなく歩きやすい、買い物しやすい、バスを待つ間も座れるベンチがあるとか、一般のお年寄りがどのように生活しやすいかという観点が見えてこない。</p> <p>計画を全部書けばいいという話ではなくて、やはりもう少し一般市民が助かるような施策を打ち出して、本当に役に立つまちづくりとバリアフリー化をやってもらいたい。</p> <p>もし構想のここを直してほしいというのが出てきたら、予算の組み替えはできるのか。</p>
吉田区政推進課担当課長	<p>このバリアフリー基本構想は、学識経験者の方とはもとより、福祉関係団体の代表の方が入った協議会の下に地区の部会を組織し、そこで議論</p>

	<p>をしたり、実際に町を歩くまち歩きワークショップを行う等、皆の目で点検をしながら策定してきた。</p> <p>福祉関係団体にはもちろん視覚障害者の方の団体もあるし、聴覚あるいはそれ以外の障害者の団体の方も入っていただき、また、老人クラブ連合会の方等の参加もいただきながら、いろいろな目で確かめて作った構想になる。</p> <p>表記が堅苦しいという印象があるかもしれないが、バリアフリー基本構想としてはこういうものを書く、と法で定められているため、今回はそれに従っている。</p> <p>ただ、もっと基本的なところや、あるいは道路をもう少しこういうふうに変更したり、歩きやすくしたりといったところについては、通常業務の中でも対応させていただきたいと思っている。</p>
大貫議員	<p>街中を歩いているときに地震等の災害が起きた場合に、聴覚に障害のある方には情報が入ってこない。特に駅等ではビジュアル的に何かもっと対応できるようなシステムが必要ではないか。</p>
吉田区政推進課担当課長	<p>東急電鉄などでは、災害発生時にスマートフォンで災害関連の情報が見られるような取り組みを始めているとPRはしているようだが、さらにいろいろな取り組みを進めていくべきだと考える。</p>
大貫議員	<p>事業者さんとはきちんと連絡をとり合い、本当にこの構想を実現できるようにしてほしい。</p>
横山議員	<p>鶴見川沿いのサイクリングロードはどのような位置づけなのか。バリアフリー基本構想の範囲にかかってくるのか。</p>
吉田区政推進課担当課長	<p>サイクリングロードはこの構想の区域の中には入っていない。</p> <p>鶴見川沿いにかつて自転車道として利用できる通路というものがあったが、今は河川管理用通路で、特にサイクリングロードとしてPRはしていないはずである。</p>
横山議員	<p>自転車の貸し出しはもうされていないが、慣れ親しんだ道ということで今ではウォーキングで使っている人も大勢いるのだから、やはりバリアフリー基本構想に含めるべきだと思うが、どうか。</p>
木村青葉土木事務所副所長	<p>この道路特定事業は、歩行者の円滑な歩行を観点にした計画になっており、自転車の走行は入ってこない。</p>

	<p>それとは別に自転車用道路のネットワーク整備も道路局では進めているので、そちらのほうで計画を策定していくことになるかと思う。</p> <p>横山議員 サイクリングロードと一般的に呼ばれているのでそう言ったが、今はほとんどの人が歩いていて歩行者用ロードのようになってきている。</p> <p> ここは車が通れないのだから、バリアフリー基本構想に入れるべきではないか。</p> <p>木村青葉土木事務所副所長 バリアフリー基本構想は、駅から主要な施設へ向かう経路を対象としている。</p> <p> そうした経路について、最短で、しかも勾配も緩く、幅の広い経路を使っただけという観点で、計画を策定している。</p> <p> サイクリングロードは川側にあるため、今回の構想には含めていない。</p> <p>横山議員 駅と主要施設とを結ぶ道が対象だから、サイクリングロードは構想には入らないというのは確かにそのとおりかもしれないが、サイクリングロードを区民が歩いていることは事実だし、整備状況についてのご要望もよくいただく。</p> <p> その都度、県の河川管理の担当者に言って草を刈ってもらったりするわけだが、ここは歩くには非常にいい道で区民がかなり使っているのだし、横浜市もウォーキングポイントなどで市民に歩け歩けと言っているわけだから、バリアフリーとは別の形でしっかりと考えたほうがいい。</p> <p> 青葉区内の中でも数少ない県の施設で、県がしっかりやってもらわないと本当は困るのだが、県がやらないのだったら区なりがやるべき話ではないかと思うが、どうか。</p> <p>小池区長 サイクリングロードが重要だというのはおっしゃるとおりだし、ウォーキングも市として力を入れている。これからの高齢化社会で健康づくりは不可欠であり、総合的に勉強していきたい。</p> <p>横山議員 横浜市は特別自治市を目指しており、ここはしっかりと横浜市で責任を持ってやるべきだと私は思う。</p> <p> 今回せっかくいい計画ができたわけだから、高齢者あるいは障害者や子供がより使いやすくするために、この地域を禁煙区域に指定したらどうか。</p> <p> 資源循環局は過料を徴収する係員を配置しなければならないから区域を余り広げたくないだろうが、指定することに意義があると思う。</p>
--	---

植村地域振興 課資源化推進 担当課長	<p>禁煙区域の指定については、条例のつくりから、喫煙者数と歩行者数の多い順で考えていくというのがまず基本的にある。</p> <p>今指定されている6か所の状況も実は芳しくないところもあり、そちらに力を入れていく、予算を投入していくところで、新規の区域指定はなかなか難しい。</p>
横山議員	<p>もちろんこの地区より先に指定してもらいたいところが、あざみ野駅や各駅などいくらでもある。しかし、今回の構想では高齢者や障害者などの利便性、安全性というしつらえを出してくるわけだから、例えば注意喚起の看板を設置するなど、区域指定しなくてもやれることはある。</p> <p>やはりそれに向けてやっていったらいいと思うが、どうか。</p>
植村地域振興 課資源化推進 担当課長	<p>資源循環局で用意している「ポイ捨て禁止」とか「歩きたばこはやめましょう」といった看板をつけていくということは可能だと思う。</p>
横山議員	<p>条例のしつらえがポイ捨て禁止の観点からできているため、喫煙の問題を取り扱うには法体系が少しいびつということがある。</p> <p>本当は受動喫煙とか健康被害とかから切り込まなければならないものが、ポイ捨て禁止から来てしまっているからやむを得ないところがあるのだが、ぜひ注意喚起をお願いしたい。</p>
赤野議員	<p>サイクリングロードについて県に要望したり協議した結果はあるのか。</p>
木村青葉土木 事務所副所長	<p>除草について区民の皆さんからご要望をいただいている。ただ、県の用地ということになると、県の所管課のほうにお話ししている。</p> <p>一方で、サイクリングロードは橋の下をくぐるような場所で河川の水位が上がると水没してしまうといった危険な個所はあるので、その辺は所管課に情報連絡はさせていただいている。</p>
赤野議員	<p>所管が違うということで進まないのであれば、議員団会議には県議会議員もいるので、県の担当者と呼ぶこともできる。</p>
菅野議員	<p>青葉区内の公の施設が集中しているところで、お年寄りあるいは視覚障害者の人も含めてハンディのある人たちが本当に歩きやすい、動きやすいというのが基本中の基本だと思う。ただ、滑らないために設置した</p>

	<p>滑り止めに逆に突っかかってしまうという場合もある。その辺りの兼ね合いはどう考えているか。</p> <p>木村青葉土木事務所副所長 視覚障害者誘導ブロック自体には段差があり、そこにつまずくというようなことがある。そういった中で技術的なことについて国等で検証されたものを設置している。我々としても最新の知見、新しい技術を用いた道路整備をしていきたい。</p> <p>赤野議員 工事中の、障害者の方や高齢者への配慮だけはしっかりお願いしたい。</p>
<p>情報提供 (2) マイナンバーカード交付の状況について</p>	
<p>発言の要旨</p>	<p>山下議員 コンビニエンスストアで住民票等を取れるようになると、マイナンバーカードの交付はもっと進んでいただかないと困ることになるが、現時点での申請数が33,000件で、青葉区では現実的にはこの10倍は必要になる。</p> <p>8月末時点での交付数が16,000枚で、現時点で申請済の人には年内には交付完了できる見込みとのことだが、申請が増えてきた場合に対応できるのか。</p> <p>佐藤戸籍課長 横浜市内で1か月当たりの交付が6,000枚という予測を立てている。12月をもって臨時交付窓口は廃止し、それ以降は戸籍課の窓口でカードを発行することになっている。</p> <p>青葉区での交付想定は月に487枚だが、その1.5倍くらいまでは対応できると考えている。</p> <p>山下議員 マイナンバーカードの発行については技術上の不備が取り沙汰されていたが、これが復旧したとなると交付申請がぐっと増えてくる可能性がある。</p> <p>さらに、住民票等のコンビニエンスストアでの交付が始まると、マイナンバーカードは便利だから皆持っていたほうがお得だという話になることも考えられる。</p> <p>そうなった時に臨時交付窓口がなくなって、戸籍課の窓口にどんどん来られて対応できるのか、本当に心配である。</p> <p>対応に必要な人員については国が保障するというような報道もあったが、青葉区は人口が30万人もいて対応できるのか。</p> <p>佐藤戸籍課長 現時点では市内で月に6,000枚と予測しており、そこからある程度増</p>

	<p>えても対応できると考えているが、大幅に超えた場合には当然新たな手段等が必要になると考えている。</p>
小池区長	<p>ご指摘のとおり、交付がスムーズに行われるということになれば、申請数が増える可能性はもちろんある。</p> <p>今の予想を超えれば事務的にかなりきつくなってくると思うが、市民局もその点は認識しており、区としてもそこはきちんと見極めながら調整していきたい。</p>
内田議員	<p>今日区役所に来るのでマイナンバーカードをもらおうと思い朝早く電話したが、今日の段階では青葉区は21日以降だったら交付できるという話だった。</p>
横山議員	<p>そもそもなぜ即日発行ができないのか。運転免許証でも即日発行できる。</p>
佐藤戸籍課長	<p>国のシステムの仕様上、即日発行は難しい。</p>